

祝辞

卒業式にあたり、PTA を代表いたしまして、お祝いの挨拶をさせていただきます。

本日、卒業証書を授与された 316 名の皆さん、卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様、お子様が立派に成長し、高校卒業という門出を迎えられましたこと、同じ保護者の 1 人として、共に喜びの思いを込め、お祝い申し上げます。

並びに、戸塚校長先生をはじめ、諸先生方、関係者の皆様、この素晴らしい日は皆様がこれまでに沢山の愛情と細やかなご指導を下さいました賜物と心より御礼を申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、自らの意志と努力により見事勝ち取ったこの前橋女子高校での 3 年間はいかがでしたか。同じ志を持った素晴らしい仲間との輪の中で、学校行事や部活動、また勉学に真摯に向き合った日々はとても充実し有意義だったことでしょう。同時に多くの苦労や困難にも出逢いましたね。部活動で目標を達成することが出来なかったり、或いは学習面で思うような成績を上げられなかったりしたこともその内の 1 つかもしれません。

しかし本校での楽しかった思い出や味わった挫折感は、皆さんの心に経験値としてしっかりと刻まれています。ご存知でしょうか。シドニーオリンピックマラソン 金メダリストの高橋尚子さんは「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」という言葉を大切にしているそうです。花と申しましたが、皆さん、自然界に咲く花はどのようにして咲いていますか？

このように綺麗に飾られた花を見ていると忘れがちですが、花には必ず根があります。

美しく大きく咲く花ほど、そこには力強い根があるのです。根を張るとは、諦めずに努力を続けること。まさに皆さんの人生そのものかもしれません。

入学以来、様々な経験をしたからこそ得られた、充実したこの三年間に自信と誇りを持ち、将来大輪の花を咲かせるよう夢に向かって前進し続けてください。

皆さんが三年間で大きく成長したように、私たち保護者も多くの経験をさせて頂きました。思春期で多感な時期の皆さんと接する中で、答えが出ずに悩み模索したこともありました。時には意見が合わず衝突し傷つけてしまったこともあったかもしれません。しかしそのすべてに最大限の愛情をもって行ったということは自信を持って言えますし、この先も私たち自身が皆さんの故郷であるという想いは未来永劫、変わることはありません。これから先、夢に向かって羽ばたいていく途中、壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時はいつでもこの故郷を思い出してください。いつまでも皆さんを見守り応援し続けることをここに約束します。

結びに、卒業生の皆さんの今後の活躍と、未来の輝かしい飛躍を心より祈念申し上げ、御祝いの言葉と致します。

本日は誠におめでとうございます。

令和二年三月二日

群馬県立前橋女子高等学校 P T A 会長 土橋 浩二